

## スポーツシティフクオカ～子どもたちの体力向上を目指して～

### 【背景】

#### ■福岡における体育施設の立地状況

福岡市内のみに絞って見れば、体育館施設だけでも10箇所以上、テニスコートや野球場、競技場を含めたスポーツ施設は30箇所以上存在する。福岡に今年から住み始めた私は、福岡市内の点々とスポーツ施設が立地している地図を見て、とても充実している印象を受けた。

#### ■福岡を拠点とするプロスポーツチーム

福岡には、本拠地を福岡県内とし大規模なプロスポーツチームが数多く存在する。例としては、福岡ソフトバンクホークス（野球）、アビスパ福岡（サッカー）、ギラヴァンツ北九州（サッカー）、ライジングゼファーフクオカ（バスケットボール）等が挙げられる。

### 【現状と課題】

#### ■福岡の子どもたちの体力現状

文部科学省が2008年度から小学5年生と中学2年生を対象として、「体力・運動能力、運動習慣等調査（全国体力テスト）」を実施している。2014年度の全国体力テストの47都道府県別体力合計点の順位結果では、福岡県（中2男子）は40位、女子は44位であり、全国平均を大きく下回る結果であった。

### 【考察】

#### ■スポーツ環境に恵まれた福岡の子どもたちはなぜ？

①うまく施設を活用できていない。

②恵まれた環境を子どもたちは知っているのか？活用できているのか？

⇒地域のスポーツ振興が子どもたちのスポーツ意識の向上、さらには市民の健康づくりにつながるのではないか？

### 【提案】

#### ■各スポーツチームで短期間の職業体験学習

まずは、仕事内容、そして第一線で活躍されている選手の姿を間近で見ることで、すこしでもスポーツに対して興味を持ってもらう。

## ■市民スポーツ意識の向上と健康づくりにもつなげる

例えば、土日に空いている体育施設を活用して、プロスポーツ選手を招いた教室や、地区対抗戦等を開催する。

住民のメリット：地域交流、健康づくり、体育施設の周知度アップ

プロチームのメリット：チームの認知度&好感度アップ⇒試合の集客率増加につながる？

その他メリット：施設有効活用

## 【未来に向けて】

### ■福岡で開催されるスポーツ大会

福岡マラソン、大相撲九州場所、ラグビーワールドカップ 2019、世界水泳選手権 2021 と数々の大きな大会が予定されている。福岡の子供たちの体力向上からはじまり福岡県民全体のスポーツ意識の向上につながれば、これから控えるスポーツ大会の成功につながるのではないか。